

請願者
紹介議員

コロナ陽性者の「自宅療養」をやめ臨時病院の病床増で

入院治療を求める請願

請願趣旨

今、日本の多くの国民は新型コロナウイルス感染症に怯え、「入院制限」と「自宅療養」に強い不安を抱いています。急激な感染症の拡大により日本の医療は実質的な医療崩壊に進んでいます。

入院できている陽性者の割合が極めて低下し、「自宅療養」が激増傾向にあります。「自宅療養」では医療対応どころか食生活などの対応も出来ず、患者の「放置」となります。これでは患者のいのちを守れません。それだけではなく、感染の「放置」にもなり、家庭内感染と地域感染をも拡げてしまいます。

「自宅療養」は極めて危険です。すでに多くのいのちが失われています。政府は、生存権を守る公的責任をはたすために自治体と協力して、新型コロナウイルス感染症患者の「自宅療養」をやめ、早期に公共施設の大ホールやイベント会場を使用して臨時病院を設置し、病床の増加をはかるべきです。このことは、すでにいくつかの自治体が具体化しはじめています。また8月18日の日本医師会の会長会見でも提言されています。

医療従事者の確保も必要不可欠です。関係団体との協力を求め、しっかりした安全環境と良好な待遇条件で人材を確保していただきたい。さらに社会的検査を徹底し、軽症患者・無症状患者も急変し重篤化することがあり入院を受入れていただきたい。

以下 意見書の請願をお願い致します。

記

請願事項

1. 「自宅療養」をやめ、ホールなどに臨時病院・医療施設を設置し増床をはかられたい。
2. 関係団体の協力を求め、医療従事者の安全環境と良好待遇で人材をしっかり確保されたい。
3. 感染抑制のためにも検査を徹底し、軽症者・無症状者までの入院治療をはかられたい

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 厚生労働大臣